

私が考えた新潟の未来

潟東西小学校 6年 保坂 杏子

私たちが住んでいる新潟は、今から十年後きっと大都市になっていて、家と店と学校がたくさんあり、自然はだんだん少なくなっていき、環境はずいぶん変わっていると思います。

だけど、今よりも人間関係はよくなり、新潟市の人たちみんなは、家族のような気持ちでつきあい、新潟県の中で一番仲のよい市になっています。

食べ物も今とは違い、今までに食べたことの無い物も多く出まわり、新しい店も増えていると思います。店の中は、みんなで大にぎわい。みんなは、こんな新潟が大好きでした。

でも、みんなが大好きな新潟は、だんだん自然がなくなり、みんなは困ってきます。そこでみんなは、考えを出し合います。

「このままにしておく。」

「このままの新潟でいいけど、自然をたくさんにする。」

「建て物を少なくして自然を増やす。」

という考えが出ました。みんなは、悩みました。そしてみんなの考えはまとまります。

「このままの新潟で、自然をもっと増やす。」ということになりました。みんなは、家の周りや道路のわきなど、いろいろな場所に植物を植えて育てました。みんなの思いが届いたのか植物たちは、だんだん大きくなり元気に育ちます。そして、新潟は自然の多い大都会になり、みんなは前よりも新潟が大好きになりました。

そして、みんなでもっとにぎやかな新潟にして、さらに自然を増やそうという声があがりました。みんなは協力して今までより大きな新潟にするためにがんばりました。そして、新潟のことを日本各地のほとんどの人が『新潟はいい所だ。』という市にしていきました。